

2015年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	情報学科						
科目名	日本語表現法応用 I						
科目区分	リテラシー科目		単位数	1	開講時期	前期	
必修・選択の別	必修						
担当者	柿崎隆宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。(A4) ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。(A4) ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。(A4) ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。(A4)						
日程と内容	第1回：講義概要および履修心得・学習方法 第2回：話し言葉と書き言葉 その1 第3回：話し言葉と書き言葉 その2 第4回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その1 第5回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その2 第6回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その3 第7回：書き言葉の技能 基礎 呼応する言葉 第8回：書き言葉の技能 基礎 文のつながり方 第9回：書き言葉の技能 基礎 意味の限定 その1 第10回：書き言葉の技能 基礎 意味の限定 その2 第11回：書き言葉の技能 基礎 言葉の順序 その1 第12回：書き言葉の技能 基礎 言葉の順序 その2 第13回：書き言葉の技能 応用 要旨 その1 第14回：書き言葉の技能 応用 要旨 その2 第15回：まとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題演習	50%	計				100%
授業到達目標の達成度	講義内での学生の反応、及び定期試験の結果から講義の目標は大筋で達成できたと考えている。						
反省点	テキスト内の問題の解答、解説に重点を置きながら講義を進め、漢字テストを第三回以降各週、前期日程後半では前期の復習課題などを課したが、より実践的な課題に触れる機会をもっと多く設けるべきであったと考える。来年度以降は基本的な講義日程に変更はないかと考えられるが、課題に関しては見直しが必要と思われる。						
来年度の計画	基本的には今年度の内容に準拠する。						
授業評価アンケートに対するコメント	担当者個人の能力以上に、学生諸君が真摯に授業に取り組んだ結果ではないかと考える。						
履修登録者数	73 名	定期試験 受験者数	67 名	合格者数	67 名	合格率	100%